

防災クイズ

Q3

1時間あたりの降水量が80^{ミリ}以上とは、どのような状況？

- A バケツをひっくり返したような雨が降り、道路が水に浸る。
- B 息苦しくなるような圧迫感で外に出られない。
- C 滝のようにゴーゴーと降り続き傘は役に立たない。



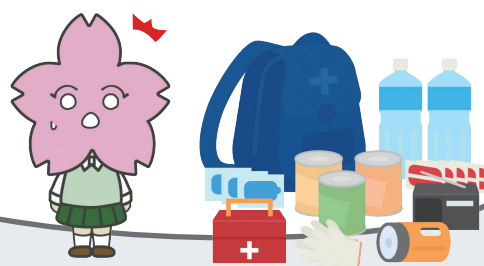
知っているようで、意外と知らないことも多い防災のこと。
みんなで考えてみよう！

答えは8・9ページ!!

Q1

「緊急安全確保」・「避難指示」・
「高齢者等避難」のうち、一番
危険が迫っているのはどれで
しょう？

- A 緊急安全確保
- B 避難指示
- C 高齢者等避難



Q2

膝の位置まで浸水しているとき
の移動方法で正しいものはどれ
でしょう？

- A 棒などを持って、足元の安全を確かめながら歩く。
- B 長靴を履いて歩く。
- C 濡れないように車で移動する。

災害は、得てして想定外の場合に起こります。いざというとき、命を守る行動ができるよう、普段からハザードマップなどで近隣の危険箇所を確認すること、防災グッズや食糧を備蓄するなど、家族全員で防災意識を高めましょう。

総務課 危機管理室長
梶井 秀和 さん



Q5

水またはお湯を注ぐだけで食べられる、今や非常食のスタンダードと言われるご飯の名前はなんでしょう？

- A ベータ化米
- B アルファ化米
- C 干し飯



Q4

大雨や台風で自分の家が被害を受けた場合、最初にとるべき行動は？

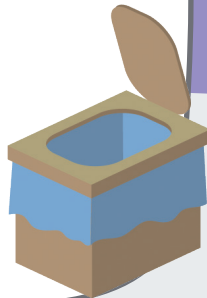
- A 流木やがれきを片付ける。
- B 家の中に入った水を外に出す。
- C 家の外や中の写真を撮る。



Q6

必ず備えておきたいトイレ。大人1人につき、1日何回分くらいの備蓄が必要でしょう？

- A 1 ～ 3回
- B 4 ～ 8回
- C 14 ～ 18回



Q7

家に備蓄する非常食とセットで用意しておきたいものとして、「正しくないもの」はどれでしょう？

- A ポリ袋
- B ランチョンマット
- C カセットコンロ



Q8

備蓄をする場所がないときの手段として、「正しくないもの」はどれでしょう？



- A できるだけ備蓄量を減らす「エコ備蓄」
- B 普段から多めに食料を用意しておく「流通備蓄」
- C さまざまな場所に備蓄品を収納する「分散備蓄」

あなたはどちら？

防災クイズ

答えと解説

解説も一緒にチェックしよう!!

Q3

答えは B

「息苦しくなるような圧迫感で外に出られない」

1時間に80㎍以上の雨は「猛烈な雨」と表現され、視界が悪く息苦しくなるような圧迫感があるよ。1時間に10㎍の雨はザーザーと降り、30㎍はバケツをひっくり返したような雨。50㎍は滝のようにゴーゴーと降り続き、傘は全く役に立たず、車の運転は危険なので覚えておこう。

Q2

こたえは A

「棒などを持って、足元の安全を確かめながら歩く」

長靴は中に水が溜まり重くなるため危険! スニーカーなどで避難しよう。マンホールのフタが外れているなど危険があるから、長い棒などで確認しながら歩こう。車は、排気口が水につかると動かなくなってしまうので利用しない。水深が膝上または水に流れがあるときは、無理に避難せず建物の2階など高い所で救援を待とう。

Q1

こたえは A

「緊急安全確保」

「高齢者等避難」は避難に時間のかかる高齢の方や障がいのある方などが避難を開始するもの。「避難指示」は、さらに危険が迫っている場合の命令なんだ。

「緊急安全確保」はすでに命の危険が迫っている状況なので、危険な場所にいる人は「避難指示」の段階で安全な場所へ避難しよう。

今は便利な世の中で、気象庁のホームページから雨雲レーダーや台風情報、危険度を表す「キキクル」を誰でも確認できます。安全な場所に住む方でも、危険な場所に住む親戚や知人などに「今夜は大雨で危ないから、避難所に行ったほうがいいよ」と呼びかけてほしいです。災害について考えるとどうしても気が重くなりますが、自ら調べることで防災意識の向上に繋がります。自分や大切な人の命を守るためにもぜひ学びましょう!

総務課 危機管理室
東 拓弥 さん



Q5

こたえは B



「アルファ化米」

もともとアウトドア用品だったアルファ化米。お米が主食の日本人にとって、なくてはならない非常食のひとつだね。最近では、五目ごはんやピラフなど、いろんな味が発売されているよ。



Q4

こたえは C

「家の外や中の
写真を撮る」

自分の家が被災した時は、被害の状況が分かるように写真を撮ろう。片付けてしまうと、被害の状況が分かりづらくなっちゃうんだ。なるべく色々な角度で写真を撮って、市役所で「罹災証明書」の発行手続きをすれば、様々な支援や保険金の請求に活用できるよ。

Q6

こたえは B

「4～8回」

大人のトイレは平均で1日5回。トイレが使えなくなった時のことを考えて、1週間分を用意しておこう。携帯トイレ（便袋）や簡易トイレなど様々な種類があるから、実際に買って使ってみるのも立派な防災訓練だよ。



Q7

こたえは B

「ランチョンマット」

ふだんのような食事ができないことがストレスになる非常時。いつもの家庭の味に近づけられればベストだね。ポリ袋やカセットコンロがあればいろんな工夫をして調理ができるよ。「パッキングクッキング」で検索してみてね。

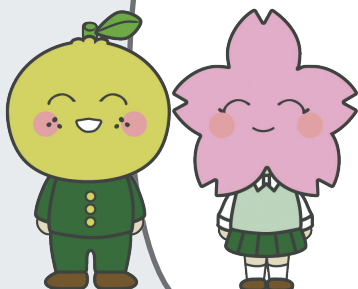


Q8

こたえは A

「できるだけ備蓄量を減らす『エコ備蓄』」

場所がないからといって備蓄量を減らしてしまうと、せっかく備える意味が半減してしまうね。保存のきく食品を普段から多めに準備して、食べたら補充していく流通備蓄（ローリングストック法ともいうよ）や、ガレージやベッドの下などさまざまな場所に備蓄品を収納する分散備蓄が便利だよ。



正解できたかな？

気になったことは調べてみよう！